

連結レバレッジ比率の構成に関する事項（2021年3月期 中間期末）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表2） の該当番号	国際様式 （表1） の該当番号	項目	当期末 2020年9月末	前期末 2020年6月末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	5,528,040	5,609,290
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	5,569,248	5,648,938
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額（△）	-	-
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額（連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。）	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額（△）	41,208	39,647
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	12,739	11,558
3		オン・バランス資産の額（イ）	5,515,301	5,597,732
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	5,414	3,594
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	9,483	9,344
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	9,366	9,867
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	24,263	22,805
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	896	1,392
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	896	1,392
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,027,082	1,007,926
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	871,196	849,454
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	155,886	158,471
<b>連結レバレッジ比率</b>				
20		資本の額（ホ）	416,807	390,144
21	8	総エクスポージャーの額（（イ） + （ロ） + （ハ） + （ニ））（ヘ）	5,696,348	5,780,401
22		連結レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ））	7.31	6.74
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額（ヘ）	5,696,348	5,780,401
		日本銀行に対する預け金の額	1,145,211	1,041,869
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額（ヘ <sup>1</sup> ）	6,841,559	6,822,270
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ <sup>1</sup> ））	6.09	5.71

（注） 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により平成26年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

前四半期の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（該当差異がある場合に限る。）

連結レバレッジ比率は、前四半期比0.57%増加しました。

これは主に「その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額」の計上額増加により、資本の額が266億円増加したことが主要因であります。

単体レバレッジ比率の構成に関する事項（2021年3月期 中間期末）

（単位：百万円、％）

国際様式 （表2） の該当番号	国際様式 （表1） の該当番号	項目	当期末 2020年9月末	前期末 2020年6月末	
<b>オン・バランス資産の額</b>					
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	5,515,870	5,597,569	
	1a	1	貸借対照表における総資産の額	5,557,079	5,637,217
	1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額（△）	41,208	39,647
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額（△）	13,594	12,441	
3		オン・バランス資産の額（イ）	5,502,276	5,585,128	
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>					
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-	
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	5,414	3,594	
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-	
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	9,483	9,344	
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	9,366	9,867	
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-	
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-	
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額（△）	-	-	
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額（△）	-	-	
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-	
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額（△）	-	-	
11	4	デリバティブ取引等に関する額（ロ）	24,263	22,805	
<b>レポ取引等に関する額</b>					
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-	
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額（△）	-	-	
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	896	1,392	
15		代理取引のエクスポージャーの額	-	-	
16	5	レポ取引等に関する額（ハ）	896	1,392	
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>					
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,015,607	995,188	
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額（△）	860,875	837,994	
19	6	オフ・バランス取引に関する額（ニ）	154,732	157,193	
<b>単体レバレッジ比率</b>					
20		資本の額（ホ）	403,539	376,329	
21	8	総エクスポージャーの額（（イ） + （ロ） + （ハ） + （ニ））（ヘ）	5,682,168	5,766,519	
22		単体レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ））	7.10	6.52	
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>					
		総エクスポージャーの額（ヘ）	5,682,168	5,766,519	
		日本銀行に対する預け金の額	1,145,211	1,041,869	
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額（ヘ <sup>1</sup> ）	6,827,380	6,808,389	
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率（（ホ） / （ヘ <sup>1</sup> ））	5.91	5.52	

（注） 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により平成26年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号を指します。

前四半期の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因（該当差異がある場合に限る。）

単体レバレッジ比率は、前四半期比0.58%増加しました。

これは主に「その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額」の計上額増加により、資本の額が272億円増加したことが主要因であります。